

最優秀審査員賞
グリーンポイント
映画祭

最優秀
ドキュメンタリー
Amateur Category
RAWSCIENCE映画祭

最優秀
ドキュメンタリー
Youth Jury
シアトル国際子供映画祭

ベギーシャレード
アクティビスト賞
ボストン国際
子供映画祭

他2つの賞と24の映画祭に入選！

奇跡のような映画ができた！
世界中の人の観てもらいたい。子供達から未来のヒントをもらう
武本匡弘 環境活動家・プロダイバー

プラスチック汚染問題にニューヨークの小学生が立ち上がる！
マイクロプラスチック・ストーリー
～ぼくらが作る2050年～

MicroplasticStory.org

監督・プロデュース： 佐竹敦子 Atsuko Quirk & デビーリー・コーヘン 制作：カフェテリア・カルチャー

映画上映会

第九回 最終!プラスチック削減オンライン連続セミナー・映画上映会

テーマ：マイクロプラスチック・ストーリー ～ぼくらがつくる 2050年～

日時：2021年10月16日(土) 10:00～12:10

参加費：無料

主催：容器包装の3Rを進める全国ネットワーク

※上映終了後、監督の佐竹敦子さんと、トーク・質疑応答を予定しています。

▼申込み件名:「第九回プラ削減オンラインセミナー10月16日視聴希望」とし、氏名、所属、TELを明記の上、

▼申し込み先: reuse@citizens-i.org 迄

※申込後、入力いただいたメールアドレスに、お申込みを受け付けた旨と当日2日前に参加URLをお送りします。ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしております。

小学生がプラスチック汚染問題の解決策を見いだせるか？

マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらが作る2050年～はニューヨーク、ブルックリンの5年生たちが世界的に大きなプラスチック汚染問題を学び、彼らの視点でこの問題の根幹が何かを問いただし、解決に向かって自分たちのコミュニティからアクションを広げて行くまでの2年間を追った長編ドキュメンタリー。



ブルックリンのレッドフック地区にあるPS15の5年生は、自分たちでリサーチやデータ収集を重ね、それを市議会で公表し、自分たちの住む地域で啓発活動を重ねていく。そしてプラスチックはごみになってからだけでなく、生産の過程でも地球環境を汚染していること、そしてそれが気候変動に関わっていることを発見し、自分たちの学校のカフェテリアでアクションを起こし、それをニューヨーク市全体に広げて行く。映画では子供達の素朴な疑問を丁寧に重ねていながら、専門家がそれに答えて行き、アニメーションをふんだんに使ってこのプラスチック汚染問題を子供から大人までわかりやすく解き明かして行く。子供達のまっすぐな熱意から希望が滲み出るマイクロプラスチック・ストーリーは世界30の映画祭に選ばれ6つの賞を受賞している。



テンポの良さ、わかりやすさ、子どもたちの表情、そして実際に米国で広がった変化。すべて素晴らしく、子どもたちと市長とのやりとりにはシビれました。私も、地元の子どもたちと動きだしたくなりました！

社団法人代表、ラジオパーソナリティー 小野寺愛

この映画を通して、観た人の生き方を変えるほどの熱量があり、圧倒されました。WEB 広告ディレクター 匿名 これはマイクロプラスチックの学びを深めて行動した小学生たちの環境保護ドキュメンタリーというだけでなく【民主主義とはこうあるべき】ということ伝えるパワーのある作品だと感じました。

デザイン業 小林久実

海洋プラスチック汚染が世界的な問題となる中で、子供たちが自分たちの足でデータを集め、社会を動かしていく様は圧巻。ネットを活用した授業も、こんなことまで出来るのか！と驚きの連続でした。

大阪商業大学公共学部准教授、NPO 法人プロジェクト保津川代表理事 原田禎夫

監督・プロデュース: 佐竹敦子 Atsuko Quirk & デビーリー・コーヘン 制作: カフェテリア・カルチャー 撮影・編集: 佐竹敦子 アニメーション: ダニエル・ラモス & デビーリー・コーヘン